

ズームアップ School! 175

『大好き わたしたちの町』 地域に学ぶ 寄島小学校

寄島小学校では、地域とのつながりを大切にしています。

6年間を通して、それぞれの場面で「わが町、寄島」について体験的に学習しています。

☆カキの養殖は、寄島町の主要産業の一つです。



- 種付け作業は、私だったら手が痛くなって途中で休憩したくなるかもしれませんが。でも工場の方は続けて何時間もしてすごと思いました。
- カキのいかがだが、重さ5 t、大きさは25mプール6個分もあるとは思いませんでした。
- 7ヶ月の間、海の中でたくさんプランクトンを食べて大きくなるのです。
- カキ打ち作業は、一人で1日に1,000個以上もするので大変です。

☆広げて守ろう アッケシソウ



アッケシソウは、波が直接当たることの少ない海岸の入り江などにできる塩湿地という特殊な環境に生育する塩性植物で、10月中旬頃には深紅に紅葉します。

寄島干拓地内のアッケシソウは、本州唯一の自生地とされています。



アッケシソウ祭りに向けて、自生地の周辺の草刈りを手伝いました。「アッケシソウを守る会」の会長さんから、「集団の力はすごいね。ありがとう。」と言ってもらえました。

☆知ろう ふれよう 寄島と世界のつながり

真鍋島沖でナウマンゾウの化石が見付かったことから、旧石器時代に寄島沖の瀬戸内海は草原であったことやユーラシア大陸とつながっていたことが分かりました。寄島と世界がつながった瞬間でした。



また、古墳時代に造られたと伝えられている福井古墳も見に行きました。さらに、大浦神社にも行き、大浦神社の歴史や競馬神事について、お話を伺いました。

現地に出向き、直接見たり、触ったり、聞いたりすることで、これまで何気なく見聞きしていたものに込められた先人の思いや歴史的な背景を知ることができました。



浅口市立寄島小学校

▲浅口市寄島町16089番地3 ▲児童数 205名 ▲HPアドレス <http://yorishima-es.asakuchi.schoolweb.jp>